

～コラムから～

仕事と生活の調和に取り組む企業や民間団体

①有限会社シーエスピー

- 慢性的な長時間労働や退職者の発生などを解決！

○きっかけ

有限会社シーエスピーは、平成 15 年にインターネット市場を開店、その後 1 年間で売上が 50 倍にアップしたことを受け、主力のマタニティや授乳服の商品企画にママの声を反映するため、当時 4 名だった社員を増やし、育児経験のある女性を積極的に採用していきました。

しかし、平成 17 年ごろ、業務量の増加を背景に、人材不足と長時間労働の慢性化、ベテランと新人の間の温度差の発生が見られるようになったほか、社内規定等の整備が遅れがちになり、退職者も少なからず出ました。

このような問題を解消し、社員のニーズにあった制度を整備するため、同社では、次世代育成支援対策推進法に基づく取組を実践することとしました。

○取組の概要と効果

まず、女性の継続勤務が増えるよう、妊娠から復職までを支援するとともに、独身者等を含めた全社員の働き方を変えることを目指しました。具体的には、妊娠中、産休復帰後の女性社員のための相談窓口の設置、乳児連れで勤務できる施設の設置、ノー残業デーの設定などを実施しました。

同社では、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を受け、くるみんマークを同社のHPや商品広告にも掲載するほか、求人広告にも活用しています。

行動計画に取り組んで以降、求人に対する応募者が増え、求人の 10 倍以上になることもあります。また、応募者の質も向上し、社内に優秀な人材が定着しました。さらに、行動計画の実現に向けて全社員が共通認識のもとで協力したこと、新社屋完成や設備改善との相乗効果で、社員がプライドを持って働くことができる職場になっています。

短時間勤務者が増えたり、子どもの急病などで早退する同僚がいても、独身社員も含めて「お互い様」という雰囲気生まれ、気兼ねしないで支援策を利用できています。妊娠イコール退職といったイメージ、出産・育児の漠然として不安があった女性が、会社の姿勢や支援策を理解した結果、退職を踏みとどまったというケースもありました。

②社団法人日本看護協会

- 看護職が働き続けられる職場づくりにより、人材の確保・定着を推進

○看護職のワーク・ライフ・バランス

看護ニーズの拡大や少子化に伴って予測される将来の看護職不足を解決し、患者と地域の保健医療福祉に貢献するためには、看護サービスの質を向上させる人材の確保と定着が不可欠との考えから、日本看護協会では、看護職のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでいます。

○「看護職確保定着推進事業」

同協会では、一人ひとりにいつも不安なく、安全で質の高い看護を提供するため、また、専門職として誇りを持って働き続けられるようにするため、「WE NEED YOU」を合言葉に「看護職確保定着推進事業」を平成 18 年 12 月から 3 年計画でスタートさせました。具体的な行動計画は、以下の 6 つです。①看護学生のための「職場探しガイド」の作成と普及啓発、②看護管理者のための「選ばれる職場づくりマニュアル」の作成と普及啓発、③多様な勤務形態のモデル事業の実施、④関係団体・関連機関との連携、⑤看護労働環境・看護職確保に関する調査の実施、⑥ナースセンター事業の強化



○「ナースのかえる・プロジェクト」

平成 20 年、同協会が実施した「時間外勤務、夜勤・交代制勤務等緊急実態調査」の結果、看護職の労働時間の問題が、医療安全の観点を含め、さまざまな角度から明らかになりました。この調査結果を踏まえ、過労死を二度と繰り返さないこと、安全で質の高い看護の提供を目指して、病院・施設の組織を挙げて取り組む「ナースのかえる・プロジェクト」を推進しています。

具体的な取組としては、まず、緊急行動として、過労死の危険性のあるハイリスクの勤務をなくす、次にトップがリーダーシップを発揮し、経営者・管理者・スタッフの一人ひとりが協力して病院・施設の組織を挙げた取組を進めていきます。

こうした現場の取組を支援するため、同協会は、具体的な改善方法やグッド・プラクティスの情報提供などの強化や診療報酬改定などの制度政策要求を強化していきます。

有限会社シーエスピー

所在地 和歌山県岩出市

社員数 30 名（男性 7 名、女性 23 名）

事業内容 繊維製品の企画製造販売

URL <http://www.mille-ferme.com/>

社団法人日本看護協会

URL <http://www.nurse.or.jp/>

「看護職確保定着推進事業」HP

<http://www.nurse.or.jp/kakuho/pc/index.html>